

2021年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492601420	事業の開始年月日	平成31年3月1日
		指定年月日	平成31年3月1日
法人名	株式会社エクシオジャパン		
事業所名	アクア上鶴間グループホーム		
所在地	(252-0302) 神奈川県相模原市南区上鶴間1-12-15		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	9名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和3年11月10日	評価結果 市町村受理日	令和4年5月20日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当施設は、相模大野駅まで徒歩20分、東林間駅まで徒歩20分、16号線から少し入った住宅街にございます。開設から2年7ヶ月が経過しましたが、開設時からの職員も多数おり入居者様と馴染みの関係をつくりながら生活のお手伝いをさせていただいています。笑顔が素敵な入居者様が多く、施設内には笑い声が響いています。職員もその笑顔に引っ張られるように明るく介護に従事しております。まだまだ、チームとしての介護に関しては未熟ですが、日々の経験を糧に、より良い介護を提供できるように努めております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和3年12月16日	評価機関 評価決定日	令和4年2月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は小田急線「相模大野」駅または「東林間」駅から徒歩20分程のところにあります。また「相模大野」駅南口からバス利用で「中和田」バス停から徒歩3分程です。周りは住宅街で、近くには大型のショッピングセンターがあります。法人は相模原市を中心に高齢者福祉事業を広く展開しています。

<優れている点>

法人の福祉に対する思いを、曜日ごとに定められた「朝礼進行表」に基づき、毎朝、職員が日替わりで司会進行を努め、経営理念・社是・社訓・行動指針などを唱和し周知徹底を図っています。特に、法人の誓い「今日一日朗らかに安らかに喜んで進んで働きます」は事務所に掲げて振り返りをしています。職員研修は、全社共通の階層別また全体研修に加えて、施設内研修の年間計画が組まれ充実しています。また社外研修は事前申請を条件に一定の補助制度があり、介護福祉士の資格を取得した職員もいます。コロナ禍、来訪や外出制限のある中、管理者やリーダーが中心となり、施設内で行う行事や趣味、慣れ親しんだ調理や洗濯の手伝いなど、寄り添いながら日々の支援をしています。

<工夫点>

職員のアイデアを活かした取り組みをしています。特に、玄関ホールに特大の模造紙に、切り絵で四季に合わせた「ありがとうの木」を作り、付箋紙を備えて誰でも、いつでも、自由に書き込みができるようにしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	アクア上鶴間グループホーム
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝礼で経営理念を読み上げ共有しています。誰もが不便や不安を感じる事なく生活出来る事を大切にしています。	毎朝、曜日ごとに定められた「朝礼進行表」を使い経営理念・社是・社訓・行動指針などを唱和し周知徹底を図っています。また法人の誓い「今日一日朗らかに安らかに 喜んで進んで働きます」は併せて、事務所に掲示を行い、振り返りをしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で活動が制限されていますが歩行訓練兼の散歩で挨拶や会話をして交流しています。	開設まもなく、新型コロナウイルス感染症の発生があり、地域との交流や結び付が厳しい状況ですが、コロナ収束を見据えて、近隣の民生委員や自治会の担当役員から情報を得るなど前向きな関係の構築に努めています。なお散歩の際には、挨拶を交わし会話を楽しんでいます。	地域との関わりは、出来つつあります。より親密な関係を築くためにも自治会への加入が期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ前は、自治会の集まりにも参加していましたが、今はスタッフ間で認知症について話し合い学んでいます。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍の為、集まったの会議開催はできていませんが、状況報告書を作成し持参しています。報告書を基に文書会議を行っています。	民生委員や高齢者支援センター職員、家族の代表などが参加し2ヶ月毎に開催していましたが、現在は書面開催となっています。施設の運営状況に加えて、行事や事故・ヒヤリハットなどを主な報告事項にしています。議事録は直接持参したり郵送で関係先に配布しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	保険制度についての問い合わせや相談は施設長が主となり行っています。	相模原市や南区の行政とは、介護認定の更新や事故報告、また運営推進会議議事録の提出などを通じ、良好な関係を築いています。特に区的生活保護課とは連携を密にし受入れを行っています。グループホーム連絡会はコロナ禍で活動を中止しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	ご利用者様の日々の様子をお伝えしています。ご家族様からも転倒リスクがあっても、できる限りご本人様を尊重した自由な暮らしをして欲しいと納得されています。これからも状況変化に応じて報告していきます。	「身体拘束防止委員会」を3ヶ月ごとに実施しています。その内2回は社内研修を同時に実施し知識の再確認や事例検討などを行い、身体拘束をしないケアについて、理解を深めています。なお報告書を毎回作成し全職員への周知に努めています。玄関のみ防犯上施錠をしています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待がおこらないよう定期的に研修で学んでいます。安全で自由な暮らしを支える為には職員間の共有の大切さを話し合っています。	身体的な、また心理的な不適切なケアは研修や話し合いを通じて理解を進めています。職員の疲労やストレスが、ケアへの悪影響に繋がらないように、常日頃から職員とのコミュニケーションを密にし、過度の負担にならないシフトの作成をしています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ご家族様のいないご利用者様には、後見人や保佐人をつけた事は職員に説明されています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約はご家族様、管理者、本社も関わり締結しています。ご家族様が不安等、表出しやすい雰囲気づくりに努めると共に、契約以降にも遠慮なく話ができる体制を整えています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様の不満にはその場で話し合い他のスタッフと共有し、悪かったところは謝り次に活かします。ご家族様には電話、時には面会の時間を頂き、意見や情報を頂戴しスタッフで共有しています。	写真入りの「おたより」を請求書の送付時に同封しています。コロナ禍のため、家族との面会は15分の時間制限を設けていますが、来訪時や電話では施設側から近況などを積極的に話して、家族との関係が薄くならないように心掛けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング、本社での勉強会、本社役員の個別面談が定期的におこなわれています。職員の意見を活かす職場作りを目指しています。	毎月のフロア会議では職員から活発な意見が出ています。コミュニケーションも良好で、特大の模造紙に切り絵で四季ごとに「ありがとうの木」を作り、付箋紙を備えて自由に書き込みが出来るようにするなど、職員のアイデアを活かした取り組みをしています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	それぞれの職員に資格所得や向上の為の研修の場が用意されています。よりやりがいのある職場づくりをめざしています。	就業規則は、事務所入り口にいつ誰でも閲覧出来るように保管しています。健康診断は全員を対象に年2回実施しています。面接は春秋2回実施し、本人の希望の聞き取りや人事考課に活かしています。また管理者は常に職員の話に耳を傾け、提案の実現に努めています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修は毎月用意されています。本社での研修に多くの職員が参加できます。	法人での階層別研修や全体研修、また施設内での研修が年間を通して組まれています。社外研修は事前申請を条件に一定の補助制度があります。入社後に介護福祉士の資格を取得した職員もいます。研修報告書を施設長から法人の役員まで報告しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	コロナ禍の為他者との交流の場はないが、自社内のグループホーム管理者同士は日々の情報交換や月一回会議を開催し事例を検討しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前情報でご利用者様の不安を読み取りしています。ご利用者様の想いを傾聴したり、不穏時の情報を共有して安心してもらえるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	フェイスシートを読み理解に努めています。ご家族様と電話やメール、大切な事は会ってお話させて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	施設の慣れない環境の中で職員もご家族様の一員となって支えている気持ちで努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様の出来る部分を大切に感謝と存在感を持って接しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	一方的にならずご家族様、ご利用者様合意のもと、確認しつつ支援に努めています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍では難しいが交流し友好的に接することが出来るように寄り添っています。	コロナ禍のため、友人や知人の来訪は自粛しています。趣味の編み物や入居前に慣れ親しんだ調理や洗濯物の後片付けなど、日常的に出来る事を行い、やりがいや張り合いに繋がる支援をしています。懐かしの歌や映画のDVD鑑賞など、穏やかに暮らせる環境づくりに努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個別に話を聞いたり、皆で楽しく過ごす時間や場面づくりなど職員も一緒に楽しんだり、ご利用者様の関係がうまくいくように職員が働きかけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用契約が終了したご利用者様と継続的な付き合いが出来るように情報提供したり連帯を心がけています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で声掛けや思いや希望など、ご利用者様の視点に立って言葉や表情など汲み取り、職員全員が意志の把握に努めています。	アセスメントや日常の会話を通して把握しています。意思表示の困難な利用者は態度や表情、行動から思いを受け止め、支援に繋げています。フロア会議やケアカンファレンス、連絡ノートで情報を共有しています。居室担当者が寄り添うケアに努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用者様のバックグラウンドを知ることが大切であり、理解につながっている。日々の生活の中で思いが活力となって暮らすことが出来るように職員も努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様の一日の暮らし方や生活リズムのへんかについて職員で情報確認したり全体像を把握しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者様、ご家族様の意向を伺い作成しています。職員間で日々、意見を出し合っています。	ケアプランは1年で作成し、6ヶ月の短期目標を設定しています。モニタリングや見直しの際は、日々の個別記録や連絡ノートを確認し、フロア会議で意見交換しています。計画書には利用者や家族の意見、医療情報も反映されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別の月間記録もあり変化がわかるように記入しています。気づきは共有して話し合っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご利用者様の声をひろい職員間で共有して毎日出来なくても提供出来るように努力していますが模索しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ前までは民生委員、ご家族様、ご利用者様が一つのテーブルで話す機会がありました。ボランティア訪問も楽しみにされていましたが今は控えています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的に訪問診療に来ていただいています。必要な時はご家族様のご同行で受診していただいています。	2ヶ所の協力医療機関から選んで月1～2回の往診を受けています。入居前のかかりつけ医を継続している利用者もいます。往診の際は薬剤師による薬の管理、職員の看護師も立ち合い連携を図っています。皮膚科など専門医受診は家族対応となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師が勤務の時には、普段は介護職の出来ない医療的な部分をスムーズに対応してもらえるように情報提供を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には日常生活の様子に加え治療に必要な症状の経緯、行った対応を報告し共有を図っています。退院時には受入がスムーズに行えるように、治療に関しての情報や助言をいただける様入院中にも連絡を取り合っています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	現状をご家族様にしっかりとお伝えし急変時に備えた対応を職員で話し合ったり提示したりしている。ご家族様の変化を見逃さないようにしている。	入居時に重度化した場合の対応について説明し同意を得ています。終末期の状況に応じて主治医、家族と話し合い方針を共有し、最善の支援に取り組んでいます。2名の看取り経験があり、施設内研修でケアや流れについて話し合っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故発生時、急変時の対応をマニュアル化し、すぐ手に取れる所に置いてある。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を定期的に行っています。ご利用者様も交えた実地訓練を行っています。	年2回夜間と日中想定避難訓練を実施しています。防災設備会社の立ち合いでスプリンクラーや非常電話の指導なども受けています。備蓄は食料・飲料水を3日分、コンロ・ランタン・電池など、消費期限の有無に分けてリスト管理しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	援助が必要な時のご本人の気持ちを大切にしながらのケアを心がけています。	人生の先輩として自尊心を損ねることがないように、研修やフロア会議で周知徹底を図っています。リビングに面したトイレ扉の前にはカーテンをするなど配慮しています。ユニット間の出入口は施錠せず、外出を希望の利用者には職員が付き添っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご家族様に合わせて声掛けをし困難な方にはご利用様が決められる場を作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人のペースに合わせて個別の支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様が洋服を選んだり、お化粧の出来ないところをお手伝いしたり、好みの髪型を楽しめるように、お手伝いしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様の好みに合わせて食べ方や切り方を変えたり、ご利用者様が片付けが出来るように工夫しています。	食材は2ヶ所の業者に委託し、職員が調理しています。米は玄米から精米し、野菜は自社の畑から週1回届き、利用者は素材から皮むきなどに関わり、調理や盛付、片付けなど個々にできることを手伝い、食への興味につなげています。おやつは昔食べた物を再現したり、好みの物をみんなで手作りしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	職員でご利用者様の苦手なものを、こんな風にしたら食べたと情報共有しています。水分、食事は月間で確認出来るようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後は洗面所に誘導し出来ないところは介助させていただいています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	失敗した時は職員で共有しトイレの声掛けを少しはやめたり、月間排泄記録を確認し排泄パターンで誘導しています。	排泄記録表を活用し、定時、随時の声掛けや態度を把握し、トイレに誘導しています。常時おむつを使用のすることが無いよう支援しています。退院後に起き上がるのも大変だった利用者が、おむつからトイレでの排泄に改善するなど、自立に向けた支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分を多めにとって頂き、便秘の方にはお腹を暖めたりマッサージの声掛け、散歩にお誘いしたりしています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴を拒むご利用者様は、上手く入れている職員の話の聞いたり、お風呂に入ります、頭を洗いますと行動の前のお声掛け、洗面所での洗髪や、時間や日にちの変更、職員間で情報共有し対応しています。	入浴は週2回、予定表はありますが、本人の意思を尊重し、柔軟に対応しています。座位の取れない利用者はチェアリフトを利用し支援しています。音楽をかけ歌っている人、昔ばなしが弾んでいる人もいます。皮膚疾患の症状に応じて毎日足浴をする人など、個々に合わせた入浴支援を実践しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	不穏や不満がある時は、ご利用者様の率直なお気持ちを受け止められるように、傾聴し安心して頂けるよう心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	日々ご利用者様の体調の変化に対応できるようにしています。薬の内容等わからない事は随時、薬剤師へ聞ける体制が作られています。その経緯を専用ノートに記入して全員が把握、確認出来るようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事や料理の盛り付け等を日常的に行って頂くようにしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍なので難しい状況ではあるが近所を散歩しています。落ち着いたらコロナ前のように、近くのスーパーへ花や動物を見に行く事を検討しています。	天気の良い日は事業所周辺の住宅街を散歩し、時には近隣の人から果実を貰うなど、地域の人たちとの交流を図りながら散歩が楽しめるよう支援しています。法人本社へドライブを兼ね同行することもあります。夏祭りやお月見会、駐車場でオープンカフェを開くなど、「コロナ禍でもできる支援を」と努めています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	コロナ禍で実現出来てないが、買い物レクや、外食レクを企画していました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	毎月、請求書を送る際に職員が作成する写真つきのお便りを、ご家族様へ送っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様の多くは食堂で過ごす事が多い為、壁に飾りつけを季節ごとに変えたり、室温を一定に保つため保湿等を行っています。	各居室、厨房に面したリビングの壁には、季節の飾りつけやイベントの写真を掲示しています。テレビやソファを配置して寛げる空間となるよう配慮しています。空気清浄機3台、加湿器を設置し、換気や温湿度にも注意しています。自動おしぼり機も設置しケアに使用しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食事は可能な限り気の合ったご利用者様が近くになるようにしています。皆様がテレビをみることが出来るようになっていきます。一人の時間にもなれるように工夫しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	タンスやテーブル等、馴染みのある物を配置して、落ち着けるような空間作りを意識しています。	居室には洗面台、エアコン・ベッド・クローゼットを備え付けています。動線を邪魔することなく、テレビ・椅子・写真や装飾品など馴染みの物を持ち込み、居心地の良い住まいとなっています。センサー使用はなく、鈴の音を鳴らし支援に繋がっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご利用者様がトイレへ行くまでの動線にてすりがあるようになりになっていることや、時計が見えるように視線の先に時計をかけた工夫をしています。		

事業所名	アクア上鶴間グループホーム
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日朝礼にて経営理念を唱和することで、日々確認をしています。定期的にフロア会議を実施し、理念方針の統一を図っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナの影響で、地域との交流会が減少されています。可能範囲内で周辺住民の方々のご協力のもと、コミュニケーションを通して交流を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域住民への交流は企画しておりますが、コロナの影響にて実施できていません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナの影響により、自粛している状態になっています。利用状況は書面を送付や掲示をしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	施設長を取りまとめ役とし、実施しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内の規定に沿った研修を実施し、施設内で委員を中心とし、現場で活かせるよう取り組んでいます。また、勉強会で定着、実施しています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員においては通報の義務もありますので、社内の規定にある研修を通して理解を深めています。また、定期的に確認をしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社内の規定に沿った研修内で、勉強会を実施しています。活用できるように、会議開催時確認しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には十分な理解をして頂く為、契約書の重要事項においては、理解して頂きやすい説明を心がけています。その際に出た質問等には、十分な説明をしています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様、ご家族様のご意見を真摯に受けとめ現場に活かしていく為、定期的にご家族様へご連絡をし、聞き取りを行っています。また、ご利用者様は、モニタリングを通して定期的に改善を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月一回フロア会議を実施しています。会議内で情報の提供や意見の交換をしています。また、個別対応にも努めて、職員の意見を反映できる環境作りに力を入れています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	本社の関連部署との連携を図っています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員のスキルに合った外部研修や、必要に応じた内部研修を実施しています。また、個別に対応したOJTにも取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	行政主催・地域の連絡会に参加し、サービスの向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご利用者が現サービスに不具合を感じていないかをモニタリングし、改善に努め安心した生活を送れるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様に定期的にご連絡をし、情報提供をしています。ご家族様のご要望を反映させるよう努め、結果のご連絡等もさせて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要性を見極め、最大限の努力と結果に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様からの学びを実践に活かせるよう、傾聴を大切にしています。学びが業務に反映されるようにコミュニケーションを図り、信頼関係の構築に努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様、ご家族様の橋渡しができるよう努めています。必要に応じてご家族様にも、カンファレンス等の場に参加のご希望を確認などしています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご利用者様が大切にされている環境においては、現生活空間で可能なかぎり組み込んで提供させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個別対応もさせて頂いています。ご利用者様の個性を重視し、傾聴などを心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要な場合や請求には速やかに対応させて頂いています。ご希望に添えるよう、相談や支援に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人おひとりに合ったサービスの提供をしていますが、カンファレンスで情報を共有し、ご希望に合ったサービスの実施に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用者様、ご家族様から生活環境をお伺いし、ご利用者様らしく生活できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様の生活を通して、心身状態の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランに沿ったサービスを実施しています。モニタリングを通して関連機関に報告し、現状に合ったサービスの提供を心がけています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録・支援記録を活用し、情報の共有に努めています。変化などあった際には、関連機関に連絡、相談を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	必要なサービスが提供できるように、支援の見直しや個別の対応に取り組んでいます。状況に対応する柔軟性を、支援に組み込んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナの影響で地域の行事に参加することができていませんが、施設周辺の散歩を通してゴミ拾い等を実施しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期往診により、身体面の健康管理に努めています。異変があった際には、かかりつけ医の指示を仰いでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	1週間に1回の看護職員出勤時に相談し、指示を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と連携をとり、情報の共有に努めています。退院後も必要な支援を受けられるよう、情報提供に努めています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご利用者様・ご家族様のご意見に沿った支援ができるよう関連機関に働きかけ、スムーズな対応ができるよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	フロア内で定期的に勉強会・社内研修を開き、急変時の対応に努めています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練を実施しています。緊急連絡網を作成し、災害対応についても日頃から訓練しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個性・個別を理解し、個別重視の対応を心がけています。プライバシーを尊重した声かけの実施を意識しています。社内研修では、接遇についての勉強会を定期的実施しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様一人ひとりが自己決定できる場の提供を心がけています。また、ご本人様のご要望が出せる環境づくりに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者様のペースに合った支援を心がけています。要望においては、できるだけ速やかにお応えできるように対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご利用者様のご希望に沿いながら、定期的に理美容の支援をしています。季節に合わせた衣替えを行っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様の状況に合った支援を実施しています。食事内容につきましては、季節の行事食など加えて季節感を目でも楽しめるよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	ご利用者様の身体及び生活面の記録をしています。必要に応じて関連機関に情報を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食時口腔観察を実施しています。口腔状態・嚥下状態においては、関連機関に情報を提供しています。口腔内の清潔の保持に努めています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	24時間シートを元に、排泄状況の確認を実施しています。自立支援に向けての個別の身体機能の向上に努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄状況の確認を毎日行い、個別に対応しています。予防においては、運動・体操を通して機能向上を図っています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本になる曜日の提案はさせて頂いていますが、ご利用者様の体調や心身状況により、ご本人希望の日程調整を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個別の24時間シートを活用し、個性を重視しています。個別の生活習慣に合ったサービスの提供を実施しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬・薬については、研修を通して理解を深めています。個別の薬事においては主治医との連携を図り、施設においては状態の観察をし、その都度報告するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個別に合わせてレクリエーションの提供をしています。心身の向上に努めています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご利用者様の健康状態を確認の上、実施可能な場合外出支援をさせて頂いています。外出時、近隣の住民との交流に努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご利用者様間での金銭トラブルが発生することが予測できる為、保管は施設の金庫でお預かりしています。コロナの影響で買い物レクは実施できてません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様よりご希望がある際には、対応させて頂いています。また、期間が開いてしまっているご家族様におきましては、施設よりご家族様に状況をお伝えしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様とともに、ご希望に合った空間づくりのお手伝いをさせて頂いています。職員側からは、過ごしやすい空間のご提案をさせて頂いています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	できる限りのプライバシー空間を保てるように努めています。共同空間においては、定期的に模様替え等をし、個別性を重視しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室はご利用者に合った環境を提供しています。ご利用者様の好みに合わせてできる限りの設置をさせて頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安心安全なサービスの提供を維持できるよう、毎日環境整備の実施に努めています。定期会議内でも、空間への振り返りを実施しています。		

2021年度

事業所名 アクア上鶴間グループホーム
 作成日： 2022年 3月 31日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	その人らしい生活。職員の都合にならないようにとは解っているが、これからもっと良くなるはずの課題です。	入居者様、それぞれの大切な1日を何か1つでも満足できるよう	各入居者様が（フロアー会議等で）何ができるかを考え、やりがいのある生活を暮らしていただきます。	6ヶ月
2	40	食事を楽しみにしているが、飽きている入居者もいる。	できることを増やし、より楽しい食事を提供します。	出来ることをやっていただき、レク等で食べたい食事をみんなで考える。	6ヶ月
3	48	今まではオープンし、手の回らなかったがこれから考えていこうとしている課題。	張りあい、喜びの笑顔ある生活	制限ある生活の中で何ができるかをスタッフで共有してゆく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月